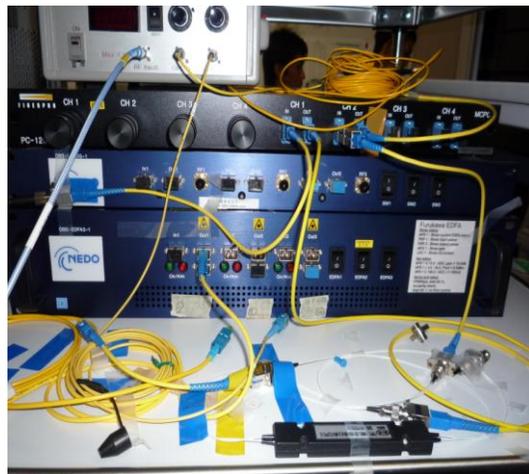
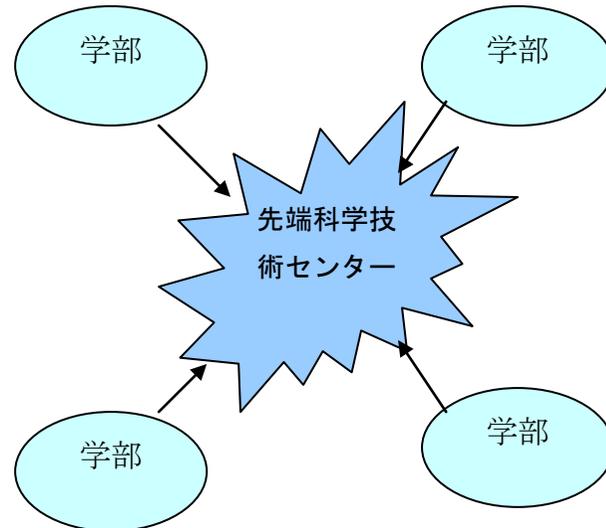


東京大学先端科学技術研究センター 18班

*先端研とは・・・？

孤立しがちな各学部ごとの連携を強め、新しいことを生み出すために、「学際性」「流動性」「国際性」「公開性」という4つの原則(モットー)のもと、様々な研究分野を抱えて分野横断的な研究に日夜、力を注ぐ機関である。



これが光ファイバー♪

最初に行ったところは、情報デバイスについて研究しているところです。

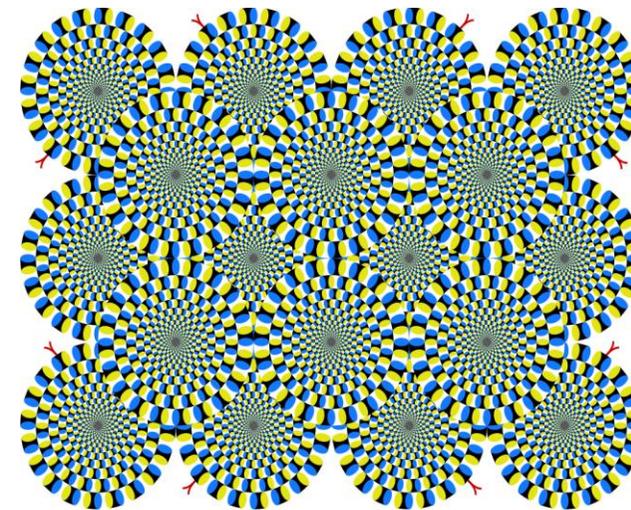
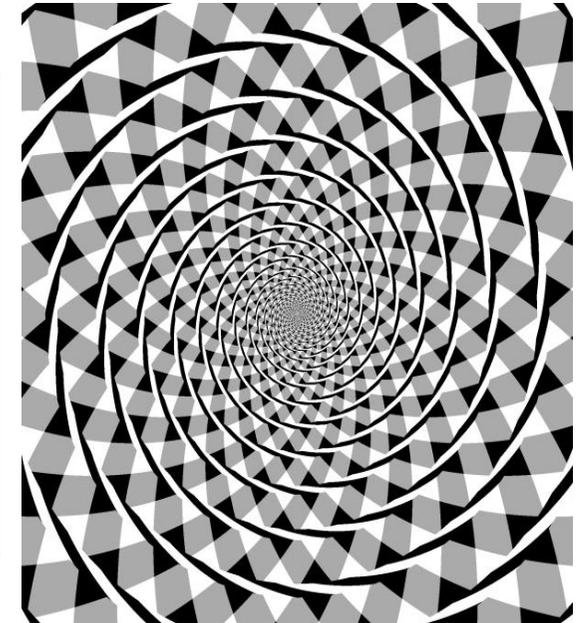
情報を電気信号に変えずに、より効率的に送る方法の研究をしていました。

内容は難しかったけれども、こういった技術があるおかげで私たちの生活が成り立っていて、新しい技術がどんどん開発されていくんだなあと思いました。

次に行った研究所では主に目に関する研究を行っていました。

そこで人間の目は特定の範囲しか見えていないことや、錯視と呼ばれる目の見え方の不思議を実際に体験させてもらいました。

そのほかにもゲーム機を使った体験的な実験をさせてもらい、認知科学を身近に感じることができました。



これらの図は、私たちが行った研究所で研究していた錯視画というものも例です。

上図は、同心円上に書かれたものが螺旋状に見えます。

左図は、蛇の模様が回転して見えます。

*まとめ

—先端科学技術センターを訪れて教授や大学院生から学んだこと—

- ・人は日々の生活の中で『好奇心』を抱き続けなければならないということ。
- ・何事にも『考える力』が必要であるということ。
- ・研究の元になるものは私たちの身近なところにあるということ。